

カンパニーデラシネラ 小野寺修二 創作 ワークショップ

「甘えの構造」
りゅとぴあ ver.

表現への第一歩として

演出家の小野寺修二さんを講師として

じっくりと作品創作を行います。

演技やダンスの経験はなくても大丈夫！

舞台の第一線で活躍するアーティストに

直に指導を受ける貴重な機会です。

カンパニーデラシネラ

こども古典名作劇

『はだかの王様』

原作：ハンス・クリスチャン・アンデルセン

演出：小野寺修二

出演：崎山莉奈、山村佑理、大庭裕介、
藤田桃子、小野寺修二、浅井浩介

2023

1/14(土) 15:00 開演

15(日) 11:00 開演 / 15:00 開演
開演は各公演の30分前

りゅとぴあ
新潟市民芸術文化会館
劇場（特設ステージ）

●チケット料金 全席自由（整理番号付）
大人 3,000円 U25 2,000円
小学生以下（4歳～小学生）1,000円

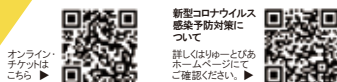
※U25：公演時25歳以下の方を対象（中学生以上）。
ご入場時に年齢がわかるものを提示ください。

この公演は国および新潟県、新潟市のガイドラインに
基づき各席制限は行わずに開催いたします。

●お申込み・お問合せ

りゅとぴあチケット専用ダイヤル
TEL.025-224-5521（11:00～19:00/休館日除く）

●主催 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団



チケット
好評発売中

マイムと聞いて、どんな印象を持つでしょうか。
まずは、言葉を使わないことを難しく思うかもしれませんが、
でも普段、意外に多くの時間を言葉を使わず過ごしている気がします。
意思伝達、慮ることも、言葉を経由せず行なっている。
止まること、動き始める間、スピード、
そこにもたくさんの情報が詰まっています。
もう一つ、僕がマイムを面白いと思うのは、身軽なところ。です。
ここがレストランだとして、次の瞬間、砂漠に一人
立つことだって出来る。スリリングなスピード感。
ワークショップで、あるいは発表会の会場で
お会い出来ることを楽しみにしています。

小野寺さんのコメント

おの でらしゅうじ
小野寺修二 略歴

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム
研究所にてマイムを学ぶ。95年～06年、パフォーマンス
シアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として
1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。作品はマイムの
動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集めている。
ダンスと演劇のフィールドを様々に駆け回る活動はとも紹介しきれないので 作品紹介などは裏面をどうぞ！

要申込み

ワークショップ日程

2023

2/23(木・祝) 13:00～18:00

2/24(金) 19:00～21:00

2/25(土) 13:00～18:00

2/26(日) 10:00～16:00

3/3(金) 19:00～21:00

3/4(土) 13:00～18:00

3/5(日) 10:00～17:00（発表会 16:00～）

会場 りゅとぴあ 練習室4・練習室5

講師 小野寺修二

募集人数 10人(予定)

対象 高校生以上

2月・3月の稽古(上記日程全7日間)、発表会に参加できる方

参加費 5,000円（高校生3,000円）

応募期間 2023/1/11(水)～1/25(水) 必着

※応募者多数の場合は、書類選考となります。

※応募された方に1/31(火)までに

選考結果をお知らせします。

お申込み ①専用サイト お申込みはこちら▶

方法 ②メール engeki@ryutopia.or.jp

(2種類あり)

件名:「小野寺修二 創作ワークショップ」として

下記必要事項を記入し、お申込みください。

1. 氏名 2. 電話番号 3. 年齢 4. 演劇・舞踊

などの経験(初心者でもかまいません) 5. 志望動機

6. 写真(バスタアップ)1点を添付してください。

※1週間以内にお申込み受付の返信をいたします。

お申込み後、期日までに返信が届かない場合は、

下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ りゅとぴあ事業企画部

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2

TEL.025-224-7000

(平日10:00～18:00/休館日除く)

主催 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

※この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。



カンパニーデラシネラ / 小野寺 修二

略歴では収まりきらないご紹介

主宰するカンパニーデラシネラでの活動

デラシネラでは大人も子どもも楽しめる古典名作劇場と銘打ち、『ロミオとジュリエット』(11年)、『ドン・キホーテ』(17年) [20年りゅーとぴあでも上演]、『はだかの王様』(21年) [23年1月にりゅーとぴあ上演予定] を創作するほか、『ふしぎの国のアリス』(17年・22年神奈川芸術劇場) に続き、カンパニーの国際共同制作として『TOGE』(21年神奈川芸術劇場) に続き、2022年にも新作を予定している。

演出も、振付も、俳優としても

自身が主宰するカンパニーデラシネラでの作品創作のみならず、演出、振付、ステージング、俳優として様々な舞台に関わっています。



演出家として

デラシネラ以外の演出作品として、りゅーとぴあプロデュース『オフエリアと影の一座』(16年)、現代能楽集IX『竹取』(18年シアターラム他) ほか多数の舞台を手掛ける。

振付やステージング

さらに様々な音楽劇や演劇で振付やステージングを担当し、2022年だけでもシス・カンパニー公演『ミネオラ・ツインズ』(1月)・『ザ・ウェルキン』(7月)、パルコ・プロデュース 2022『セールスマンの死』(4月)・『桜文』(9月)、KERA・MAP #010『しびれ雲』(11月) [12月にりゅーとぴあ上演予定] と数多くの舞台に携わる。
2010年度に第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞。

学校公演、野外劇、大河ドラマにも

小中学校巡回公演など次世代へのアプローチにも積極的に取り組む他、ダンストリエンナーレトーキョー 2012にて『ロミオとジュリエット』、瀬戸内国際芸術祭 2013にて屋外劇『人魚姫』を発表するなど劇場内にとどまらないパフォーマンスを行う。
2022年10月には東京芸術祭 2022 野外劇『嵐が丘』を上演。
2015年度文化庁文化交流使。2021年NHK大河ドラマ『青天を衝け』にて、北大路欣也扮する徳川家康周辺の振付を担当。
俳優としても 2022年にも再演された東京芸術劇場『気づかいレーシー』で岸井ゆきの、栗原類らと共演しています。